

## レジ袋の（日本型）有料化 -レジ袋の無料配布の廃止-

富山方式も参考に、以下のとおりとする。

(1) 事業者はプラスチック製のレジ袋を無償配布してはならないとする法令を新たに、かつ、速やかに制定する。

(2) 具体的には、

- ① スーパー・コンビニ・ドラッグストア・百貨店などのレジ袋を利用する事業者を一律に対象とする。
- ② レジ袋を使う場合には有償とし、その内容（価格、方法等）については、環境上効果的なものとなるよう各事業者が選択するものとする。
- ③ 有償化により得られたレジ袋の売上は、仕入原価を除き、環境対策等に充当されるなど、関係者の理解を促進していくものが望ましい。

(以上)

## レジ袋削減の取組み

## ● レジ袋の無料配布廃止の概要

- 20年4月1日から、県内全域で一斉にスタート（混乱なし）  
⇒ 県単位では全国初。協定方式でスピーディに。
- スーパーマーケット、クリーニング店 **28社208店舗**で取組み  

〔	スーパー マーケット 27社120店舗	〕
クリーニング店	1社 88店舗	
- レジ袋1枚の価格   スーパー マーケット **5円**  
 クリーニング店      **10円**
- レジ袋の収益金等は**地域の環境保全活動等**に活用
- 事業者、消費者団体、行政の三者で**協定書を締結**し、各主体の役割分担と連携協力を確認
- 20年10月にはレジ協議会が**環境大臣表彰**を受賞

・各社で価格を決定  
 ・レジ袋の収益金  
 =レジ袋の価格ー(袋の原価+消費税)



協定締結式(20年3月)

循環型社会形成推進功労